



第3号(6月)

令和6年5月16日
足立区立加平小学校
校長 倉島 敬和

「子供たちに期待を込めて」

校長 倉島 敬和

5月の下旬、高学年になった5年生は二泊三日で鋸南自然教室を経験します。鋸南自然教室の目的は、日常の学校生活では味わえない自然体験を通して学ぶ事や、集団生活を通して互いを尊重しルールを守り、協力して物事を成し遂げることです。

5年生にとっては初めての宿泊学習ですが、学校では事前に鋸南自然教室のねらいや活動内容を子供たちに指導し、班長をはじめ様々な係を任せることで、ねらいに迫る学習をすすめています。私たち引率者は鋸南自然教室を通して子供たちに願いを伝えました。それは集団で生活するために必要な望ましい姿です。例えば、協力して行動する姿、挨拶を心で交わしている姿、約束を守って行動する姿、自分で考え行動している姿、仲間と力を合わせて活動している姿など、日頃学校生活で取り組んでいる事を学校以外の社会で自ら考え、その場に応じた行動ができる加平小の子供であってほしいと「期待に応える子供の姿」を伝えました。子供たちが二泊三日の間、様々な活動の中で期待に応える姿を示してくれることを期待しつつ、今回の経験が今後の学校生活、多様な人との関りに生かせるよう、時には失敗する場面もあるとは思いますが、その都度、子供たちに問いかけ「どうすればよかったのか」を考え、一人一人が正しい判断・行動・態度ができるよう励まし、認め、賞賛しながら過ごさせたいと考えています。

さて、ここからは全校児童に対しての思いです。上述した自然教室は高学年の子供たちのある日常の一場面にすぎません。子供たちにとって日々の学校生活は、多様な人との関りの中で様々な体験・経験ができる場です。私は、全ての子供たちに日々の学校生活を通して機会あるごとに各自の判断・行動・態度等、例えば、相手を思いやる心、挨拶の大切さ、廊下の歩き方、時間を守って行動すること、自分のすべきことをしっかりと果たせること、みんなで仲良く協力して過ごすことなど、子供たちに期待を込めて思いや願いを話しています。すぐに具現化できる子供たちがいる一方、なかなかできない子もいます。各担任は、その都度、子供たちの言動・態度等の状況を振り返らせ「何がいけなかったのか。どうあるべきか。そのためにどうするのか。」などを問いかけ考えていく中で、正しい判断・行動・態度ができるよう励まし、望ましい人間関係の構築や互いに協力し合いながら協働的な学習活動ができるよう促しています。

子供たちは成長半ばであります。時には失敗したりくじけそうになったり面倒がったりするものです。私たち大人が子供たち一人一人の可能性を信じ期待をかけ励ましていくこと、そして、私たち大人が模範を示すとともに、活動のねらいや目的、意義を明確に伝え活動に取り組ませていくこと、加えて、取り組んだ成果を価値付け伝えていくことで、子供たちは達成感を味わい、自己肯定感も高まり成長していくのだと考えています。

学校では、子供たちの近い将来(一年後)の望ましい姿を示すとともに、その姿に近付けるために学校教育全体で継続的に指導を続けています。年齢にふさわしい成長ができるよう子供たちと向き合いながら粘り強く指導していきます。

加平小学校の子供たちは確実に成長しています。宿泊行事だけでなく、校内の教育活動で高学年の子供たちが下学年の良き手本となり活動している姿がたくさん見られますし、その良き手本をまねて下学年も活動しています。互いによい刺激を受けながら学校生活を過ごしています。

6月中旬には6年生が日光自然教室に行きます。昨年度行った鋸南自然教室の経験をもとに、日光自然教室で様々な経験を積ませる予定です。6年生に対しても集団生活を通して互いを尊重しルールを守り、協力して、物事を成し遂げることができる子供(期待に応える子供たち)に成長できるよう大いに期待しています。

保護者・地域の皆様におかれましても、子供たちの健やかな成長のために、御家庭や地域において積極的にお子様と関わりを深めていただければ幸いです。

これからも加平小学校の子供たちを見守り、励ましていただければと思っています。

【御報告】 早めに翌月の予定表が知りたいとの御要望から、学校だよりの発行スケジュールを今月号より半月前倒して発行します。
学校だよりは、月の中旬頃発行します。保健だより・給食だより・献立表は、月末の発行となります。

特別活動で育てていきたいこと

特別活動主任

特別活動は、学級会や係活動などの「学級活動」、委員会や集会、たてわり班活動などの「児童会活動」、「クラブ活動」、1年生を迎える会や運動会などの「学校行事」から成り立っています。

昨年から感染対策による特別活動の制限がなくなり、段階的なステップを踏みながら、学年間の横のつながりや上級生・下級生とのつながりを意識し、子供たちなりに「今できることは何か」を考え、アイデアを出し合って活動に取り組んでいます。子供たちの「やってみよう!!」が実現できるように教員一同もサポートしてまいります。そしてやってみた結果、次回何を改善したらもっと充実した活動につながるかを子供たちが考え行動につなげる「ふりかえり」の時間を大切にまいります。

今年度から、多様な人との関わりの一環として、たてわり班活動の中に、様々な人たちと楽しむことのできるボッチャを取り入れます。

特別活動の多様な集団活動を通して、子供たちが「温かく望ましい人との関わりの中で、よさを発揮しながら、生き生きと社会生活を送る将来」につながっていくよう、一つ一つの活動を大切に実践してまいります。引き続き、暖かいご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

生活指導部より

生活指導主任

児童の交通安全について

毎朝、校門で登校してくる児童に挨拶をしながら、その様子を見守っていますが、校帽をかぶっていない子、ゴム紐が切れていたり伸び切っていたりして正しくかぶれず手に持って歩いている子が散見されます。車の運転手から見えやすくすることは、交通事故に遭わないためにとっても重要なことです。お子さんが校帽をかぶって家を出ているかどうか、今一度ご確認いただくと幸いです。

また、ご家庭でお子さんと交通安全について話し合ってください。親子で出かける際はぜひ保護者がお手本を示してあげてください。自転車に乗るお子さんも多いことと思いますが、交通事故の被害者になることだけが心配事ではありません。もしかしたら加害者になってしまうかもしれません。ちょっとした気の緩みや自分勝手な判断が事故を引き起こしてしまいます。そして、被害者になっても加害者になっても苦しい思いをします。もし車でお出かけになるのであれば、ドライバー視点で交通安全について考える絶好の機会です。「車から見ると自転車はこんな風に見えるよ」とか「あそこから子供が飛び出してくるかもって予想できる？」など、普段の自分たちの行動を相手目線で考えさせ、良いことは継続し、悪いことは改善するよう諭してください。

学校生活では、「靴箱には靴を揃えて入れる」→ 校内に入る前に一呼吸置くことで、落ち着いて教室に向かう

「席を立ったら椅子をしまう」→ 休み時間に遊びたいというはやる気持ちを落ち着かせる

というワンアクションを習慣化することで、落ち着いた生活態度を自然に身に付けさせたいと考えています。

★全体のお知らせ★

○学納金(教材費)について

6月の学納金は17日(月)が予定です。前日までにご入金をご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○学校公開・道徳地区公開講座について

実施期間:6月4日(火)~8日(土)

8日(土)は道徳地区公開講座となっております。詳しい時間割や参観時間につきましては、後日ご連絡いたします。

○あじさい読書旬間について

実施期間:6月17日(月)~ 6月28日(金)

この機会にご家庭からも様々な本を持たせていただけると助かります。

○水泳について

6月13日(木)から水泳指導期間が始まります。今年度も学年ごとの実施となります。水泳指導についての詳細は、後日ご連絡いたします。

○健康診断について

健康診断で「治療や医師による診断が必要」と判断された場合、治療依頼の用紙を持ち帰ります。通知を受けましたら、できるだけ早めの受診をお願いします。治療が終わりましたら、治療済みの用紙を学校にご提出ください。